

# 外国につながいを持つ中学世代の 日本語・教科学習支援者のための一日基礎講座

～学校で支援する人にも、地域で支援する人にも役に立つ～

外国につながいを持つ中学世代の子どもとの接し方、日本語・教科学習支援の取り組み方法や教材で、お困りではありませんか？ 県内で活動し、長年経験のノウハウを持つ「NPO 日本語・教科学習支援ネット」のメンバーが、一日講座の講師陣を務めます。



**日時：2013年11月9日(土) 10:00～17:00**

**会場：川崎市国際交流センター レセプションルーム**

**対象：外国につながいを持つ中学世代の日本語・教科学習支援を行っている人、これから日本語・教科学習支援を始めたい人**

**募集：30名（※大学生枠別にあります） 受講費：無料**

**申込：メールにて下記①～④を明記の上、お申込みください。（11月1日締切り）**

**① お名前、② 住所&携帯電話番号、③参加したい講座、④参加動機**

E-mail : mc.tabunka@gmail.com (受付のメール返信にて受講許可となります)

## < 講座内容 >

	時間		講師
1部	10:05～10:45	外国につながいを持つ子どもたちの現状と課題 ◇学校の中で行われている施策、子どもとの接し方のヒントも紹介、 「寄り添い」活動の大切さ	主催者
2部	10:50～11:50	日本語を第二言語とする子どもたちが国語をまなぶために必要なこと ◇日本語と国語の違い	榑口 万喜子さん 横浜国立大学留学生センター 非常勤講師
		交流タイム	
3部	12:30～13:30	日本語を第二言語とする子どもたちが数学をまなぶために必要なこと ◇日本語ができると、数学ができるようになる	志村 ゆかりさん 一橋大学国際教育センター 非常勤講師
4部	13:40～15:00	書く力を育てていくための学習支援方法 ～楽しく意欲的に書くための教え方を考える ◇書く意欲を書きたてる	畑野 尚子さん 鎌倉市スクールアシスタント
5部	15:10～16:40	楽しく学習させるための日本語教材 ～見つけ方、子どものレベルに合わせた使い方 ◇推薦教材の使い方、見つけ方。自作教材の紹介	頼田 敦子さん 横浜市教育委員会 日本語講師
	16:40～17:00	まとめ(アンケート記入) 終了後に交流タイム	

主催：多文化活動連絡協議会、 協賛：NPO 法人 WE21 ジャパン・たかつ  
後援：川崎市、川崎市教育委員会、(公財)川崎市国際交流協会



主催団体： 多文化活動連絡協議会 多文化共生社会の推進をめざして！

毎年10月に川崎市高津区溝の口で開かれる「多文化フェスタみぞのくち」を維持・継続する団体です。フェスタは1999年に始まり2012年で14年目を迎えました。NOCTY2の屋上で、障がいのある人、外国人・子どもや高齢者などの存在を知ってもらい、普段から共に生きることを考えるきっかけを作り、多文化共生社会の推進に取り組んでいます。

「多文化共生コンサート」をきっかけに、外国につながりを持つ子どもの教育を支援する団体を支援するための活動(情報提供、活動支援)などに取り組んでいます。



講師陣の団体：NPO 日本語・教科学習支援ネット

(旧：NPO 中学・高校生の日本語支援を考える会)

県立・市立高校の日本語を母語としない生徒の国語取り出し授業担当者、日本語指導員、横浜市教育委員会日本語講師などで組織するNPO。中高生のための教材作りや、学習ボランティア養成講座や研修などを企画・実施している。著書に、「進学を目指す人のための教科につなげる学習語彙 6000語 日中対訳」など多数。

会場アクセス 2013年11月9日(土) 10:00~17:00

川崎市国際交流センター 〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町2-2

最寄駅：東横線 元住吉駅 徒歩約11分

